

## ④6 林業技術研修棟新築工事

受賞機関 岡山県 土木部 都市局 建築営繕課

キーワード 無柱大空間、CLTパネル工法、木造の可能性

## 全建賞審査委員会の評価ポイント

林業技術研修施設の新築工事。一般製材と既往の工法により大空間を実現した中大規模木造と、CLTパネル工法による木造の建築物を2棟整備し、両者を一度に見せることにより、木造の可能性を発信する施設として環境保全対策に寄与している点が評価された。

## 1. はじめに

本事業は、森林の経営管理を行う市町村職員や林業就業者等の人材育成環境の充実を図るため、岡山県森林研究所内に林業技術研修施設を新築したものである。

## 2. 事業の概要

本事業では、公共建築物における木材利用の促進や、岡山県産材の積極的な利用促進のため、木のぬくもりを感じられ、木材の積極的な利用がアピールできる施設の実現を目指した。

そのため、当施設では、県内で製造されたJAS製材品やCLT（直交集成板）の活用に努めるとともに、一般流通木材を使用した大空間の実現やCLTパネル工法での整備に挑戦し、異なる工法による木造建築物2棟を整備することとなった。



木造軸組工法とCLTパネル工法で整備した林業技術研修棟

## 3. 事業の成果

建物2棟のうちの1棟（研修棟1）では、チェーンソー等を利用した立木の伐倒研修や、重機を利用した丸太の移動といった研修を実施するため、梁下が高く、広い空間が必要であった。一般的に、大空間の実現には、鉄骨や大断面集成材が使われるが、今回はJAS製材品の普及を促進する観点から、骨組みには木造住宅に用いる一般流通材の柱・梁材を使用し、重ね柱やトラス梁を組むことで高い階高と15m超スパンの無柱大空間を実現した。

もう1棟の建物（研修棟2）は、機能的には主に座学を行う研修室や事務室等であるが、新たな建築材料として期待されているCLTの建築物への普及を目的に、

CLTパネル工法を採用し、壁や屋根を中心にコストも考慮しながら最善の位置にCLTを使用した。

また、建物の内装に接合金物が見えないようにするため、接合部において木材を座彫りし、そこに接合金物を埋めることや、外側の材料へ金具を仕込む等の工夫を行った。その結果、金具や配線はほとんど見えず、落ち着いた雰囲気の内観とすることができた。

更に、公共建築物における木材利用の促進や県産材の積極的な利用促進のため、外壁の一部には焼スギを貼り、トイレの面台や各部屋の廻り縁などの細かな部分には県産材のヒノキを使用するなど、使用する木材は、構造材のほか造作材や建具材に至るまで、県産材を積極的に使用することで、木のぬくもりが存分に伝わる施設とすることができた。



一般流通木材を使用した大空間



CLTパネル工法の採用

## 4. おわりに

本事業では、一般製材を用いた既往の工法による中大規模木造の建築物とCLTパネル工法による建築物の2棟を整備することで、両工法を一度に見ることができるとともに、木造の可能性を十分に情報発信する施設となった。

本施設が、林業技術研修施設としての機能を存分に発揮するとともに、木材の積極的な利用がアピールできる施設となることを願っている。